

がん対策の推進に関する意見交換会

口腔がん 日本口腔外科学会

東京医科歯科大学大学院 顎口腔外科学分野  
小村 健

# 口腔の機能

- ・ 摂食，咀嚼，嚥下，構音（発音）

（日常生活を営む上で必要不可欠な機能 QOL=生活の質）

## 頭頸部癌罹患患者数の将来予測

ICD - 0

- 口腔癌：C00 - C08
- 咽頭癌：C09 - C14
- 喉頭癌：C32

年	男性			女性	
	口腔癌	咽頭癌	喉頭癌	口腔癌	咽頭癌
1995	3,141	2,140	3,258	1,851	569
2000	3,736	2,745	3,700	2,203	682
2005	4,296	3,343	4,061	2,577	795
2010	4,868	3,919	4,405	2,974	914
2015	5,315	4,453	4,646	3,363	1,017

予測

2015年の罹患患者数は1995年に比べて1.5～2倍に増加

# 現在までに行ってきた口腔がん対策

## ・禁煙推進運動

喫煙の口腔がんに対する寄与危険度58.1%

会員・国民に対する禁煙の啓蒙と推進 禁煙推進宣言(2003.10)

## ・口腔がん検診のガイドライン策定(2006.3)

一般歯科医師を対象 高危険群・歯科受診時の検診

## ・地域口腔がん検診の実施

歯科医師会/自治体/学会と共同 千葉市 0.14%、久留米市 0.06%

舌がんT進行度の推移			千葉県がんセンター
T進行度	-1984 (170)	1985-1994 (152)	1995-2001 (117)
T1	31	43	31
T2	73	68	63
T3	52	33	12
T4	14	8	11
	) 61%	) 73%	) 80%

# 現在までに行ってきた口腔がん対策

- ・口腔がんの診断・治療に関する教育研修会の開催  
診断精度の向上・治療の標準化・治療成績の向上
- ・口腔がん治療のガイドライン策定  
治療の標準化 下顎歯肉がん(2005.1) 舌がん(2006.10)
- ・口腔がんに関する疫学調査  
日本頭頸部癌学会と共同
- ・口腔がんに関する基礎的・臨床的研究  
口腔扁平上皮癌の浸潤様式 下顎歯肉癌T4分類の提唱  
超選択的動注化学療法 等

# 今後の口腔がん対策への提言

- ・**歯科医学・医学教育における口腔腫瘍学教育の充実**  
コア・カリキュラムの充実、共用試験、国家試験への採用拡大をはかる
- ・**口腔がん診断に関する研修体制の整備**  
歯科医師会を通じて、開業歯科医の研修体制を整備する
- ・**口腔がん・前がん病変の啓蒙と口腔がん検診の実施**  
8020運動と連動させ啓蒙するとともに、検診を実施する
- ・**より簡便な口腔がん検診法の開発**  
唾液・含嗽液等による簡便な診断法を開発する
- ・**がん診療拠点病院における口腔外科の常設**  
口腔がん治療、口腔ケア等を担当、口腔がん治療医の研修・育成に寄与する
- ・**口腔がん治療医の育成**  
がん診療拠点病院や大学病院における研修・育成システムを構築する
- ・**個別化・低侵襲治療および機能回復治療の開発と支援**
- ・**重複がん早期発見・治療システムの構築**